

令和元年度 ウィークエンド青少年セミナー 実施報告①

実施日：令和元年 10 月 19 日（土）

本セミナーは、次代を担う青少年が、身近な地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な学びを通し、活動の企画や運営などの実践力を養うことをねらいとしています。栃木県総合教育センターと宇都宮大学が共催で 10～12 月に全 5 回の内容で実施しています。

今年度は、大学生 18 名、高校生 14 名の計 32 名の参加で講座が始まりました。



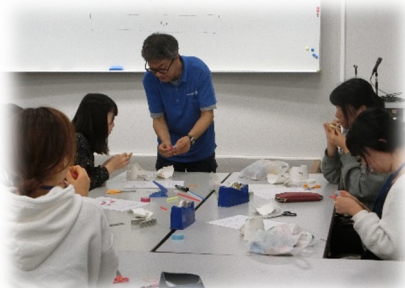
演習「自分たちも何かやってみよう！企画・立案編Ⅰ」

道具を使わずに行える簡単なアイスブレイクを通して、受講者の関係性を築きました。その後、研修の目的を確認して、第 4 日目の実習に向けてイメージを膨らませました。



体験講座「手軽に楽しめる遊び」

- 工作活動 栃木県子ども総合科学館 展示課長 室岡 久男 氏
 - 折り紙創作活動 センターボランティアの会 村田 文子 氏、小林 久子 氏、鈴木 弘子 氏
- 工作活動では、100 円ショップなどで手軽に入手できる材料を使い、動く作品を中心に教えていただきました。テープやはさみを使って工作すると、音が鳴ったり、飛ばしたりできるものが短時間で完成しました。折り紙創作活動でも、子どもたちが動かして遊ぶことができる作品の作り方を教えていただきました。久しぶりに折り紙に触る受講生もいて、懐かしさと完成したときの喜びに、笑顔あふれる時間となりました。受講者は、工作活動や折り紙創作活動自体のもつ魅力を感じただけでなく、講師の指示の仕方や気配りなどにも気づきを得られたようです。



* 受講者の感想より *

- アイスブレイクという緊張を和らげる方法を知って、体験することができた。
- 積極的に発言していくと、話し合いがスムーズに進んでいくことがわかった。
- 企画の主題を考える時に、アイデアはたくさん出ても、よいネーミングが決まらずに苦労した。
- 違う年代の人たちとも接することができて勉強になった。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp